

# 小田原のまちに 豊かな暮らしの風景を増やしたい

2018.11.25 Street Loungeの様子



## ■活動地域

神奈川県小田原市

## ■活動期間

2014年4月1日～継続中

## ■活動体制

工学院大学 学生 & OBOG /  
都市デザイン・マネジメント若  
手専門家 / 小田原市役所 自  
主研究組織 / 地元活動団体  
 / 地域関係者

## ■活動キーワード

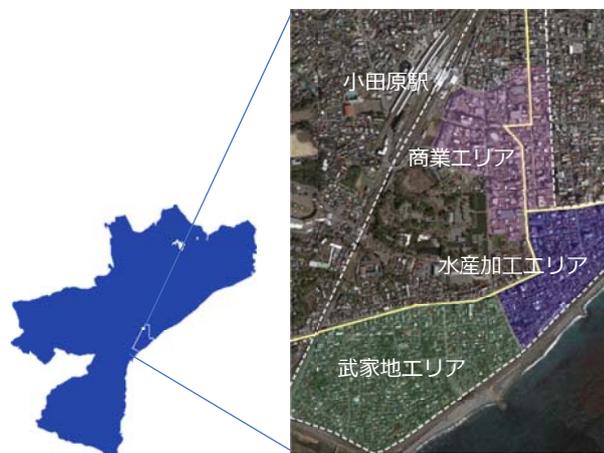
中心市街地活性化 / プレイス  
メイキング / 公共空間活用

## ■2017年度活動メンバー

M2 和田健 / B4 浅川遥友  
中野谷あみ / B3 岩澤瑠輝  
 / 影山秀治 / 高山壘 / 高草  
木響 / 諸泉杏実 / 阿部勇輝

## -活動経緯-

小田原市の駅前中心市街地では小田原市による三大事業が進められており、これらの事業が街の核となる「点」であるとすれば、それらをつなぐ「線」や、その集合としての「面」を戦略的に整備していくことで、事業の効果がより高められると考えられる。そのため、小田原 Lab.は中心市街地エリアを中心に様々な課題や資源を洗い出し、それらを解決、活用するための都市デザイン・マネジメントの企画提案をしていく。



## -対象地の概要-

小田原 Lab.の活動は小田原駅の東側に広がる商業エリアから、相模湾まで広がる武家地・水産加工エリアまでを対象としている。この土地は様々な歴史・文化を継承しており、駅を出てすぐに見える小田原城が持つ氏族の歴史から、名産であるかまぼこなどに関する漁業の歴史、かつての文化人たちが残した伝統工芸や文学の歴史などを有している。また、小田原銀座通りでは毎年3回の「小田原まちなか軽トラ市」や月に一度の「小田原まちなか朝市」など、地産地消をコンセプトに商店街を盛り上げる企画が行われている。

## -昨年度までの活動-

初年度の調査研究を踏まえ、史跡整備用地の活用企画「芝活」や、軽トラ市にて空き家のガレージ・道路沿いの駐車場をプレイスメイキングの手法により空間デザインする「軽トラ市×ストリート PJ」を継続して行ってきた。今後はこの企画を地域の人に引き継ぎながら、マネジメントしていく方法を検討する。

## 2018年度の活動内容

今年度は、5、8、11月の「軽トラ市×ストリートPJ」で、それぞれプレイスメイキング企画を行った。

### 【Street Lounge 3】

5月28日(日)の10時から13時半まで、商店街中央にある屋外駐車場スペースにて、子ども向けの企画として子ども工作教室やらくがきコーナー、またコラボ企画としてコーヒー体験WS(ここっとコーヒー)などを行い、空間をデザインした。(写真 1.2.3)

<調査>コンテンツ別利用者調査  
空間行動調査



### 【Street Theater 4】

8月25日(日)の17時から20時半まで、鶴亀屋ガラス店のガレージに電飾を施し、風船プールやブラックライトアート、バルーンアートパフォーマンスとのコラボなどを用い、軽トラ市の憩いの場として空間をデザインした。(写真 4.5)

<調査>コンテンツ別利用者数調査



### 【Street Lounge】

11月25日(日)の10時から13時半まで、商店街中央の屋外駐車場スペースに芝生を敷き、コラボ企画として①コーヒー体験WS(ここっとコーヒー)、②マッシュマロ焼き体験(遊Beingあしがら/NPO法人チルドリン)等を開催し、空間をデザインした。

(写真 6.7)

<調査>コンテンツ別利用者調査  
空間行動調査

